

事業活動報告(2018.4~2019.4) 事業所名 居宅生活支援部

<p>1.2018年度 事業所方針</p> <p>《グループホーム》</p> <p>1. 自分らしい生活を描き、心落ちつける場、暮らしたいと思える場をめざします。</p> <p>2. 支援者のスキルアップと働きやすい職場環境をめざします。</p> <p>3. 亀岡福祉会ビジョン2018の実現に向けてとりくんでいきます。</p>
<p>《ショートステイ・日中一時》</p> <p>①障害がある人とそのご家族が、より豊かに、そして当たり前前に生きるための支援ができるようにします。</p> <p>②関係機関と連携し、「その人にとって」を第一に考え支援します。</p> <p>③利用される方が、安心安全快適に過ごせるような環境づくりに努めます。</p> <p>④どんな障害の方も、しっかり受け止められる支援者集団を目指します。</p>
<p>《ホームヘルプセンターゆめネット》</p> <p>I：地域の様々な事業所と連携しながら障害のある人の生活の質の向上をめざします。</p> <p>II：ホームヘルプ・ガイドヘルプサービスの質の向上をめざし、多様なニーズに応えています。</p> <p>III：地域で暮らす障害のある人の一層の多様なニーズに応えています。</p>
<p>2.利用者・職員状況</p>
<p>《グループホーム》</p> <p>5月SYさん(あゆみ荘)・7月HTさん(たんぼぼ)・11月STさん(あゆみ荘) 入居されました。ホームに泊まれないWさんが11月に1回12月に1回泊まりました。</p>
<p>《ショートステイ・日中一時》</p> <p>今年度に入り、支援学校の生徒さん1名をショートステイで新規契約しました。卒業後を見据えての挑戦です。日中はH事業所をご利用の方を1名日中一時で秋から新規受け入れ予定です。</p>
<p>《ホームヘルプセンターゆめネット》</p> <p>利用者さんの新規契約を1月にしました。週1回の家事援助です。</p>
<p>3.今年度の実践内容と成果</p>
<p>《グループホーム》</p> <p>新たにあゆみ荘に入居されたSYさんは、補聴器を付けても耳が聞こえにくく、身振り手振りやホワイトボードを使用しながらコミュニケーションをとっています。たんぼぼに入居されたHTさんは、てんかん発作を頻発し常時の見守りが必要な方です。日中職員の朝夕応援支援をもらいつつ、支援体制を強化しています。SYさんHTさんともにホームでの生活をととても満足されている様子です。年度末に体調を崩され入院された方が複数おられます。家庭と連携し支援していますが、健康管理は重要です。</p>

《ショートステイ・日中一時》

ご家族の体調不良により、休日をご自宅でご過ごしにくいYさんを、調整がつく限り日中一時で受け入れました。ご本人の要求が本格的な卓球であることから、絆の卓球台をもらって第三かめおか作業所に運び、機嫌よく帰宅していただくように努めています。西日本豪雨被害の土砂崩れで通勤バスの運行が見合わせられ、出勤できなくなっていた第三かめおか作業所のIさんをお結び、第三かめおか作業所と連携し、第二ショートで長期に受け入れました。ご家族の不調による緊急のショート等もありました。

《ホームヘルプセンターゆめネット》

災害レベルといわれている今年の猛暑。ゆめネットでは外出支援を行うことも多く、暑い中での支援をどのようにするかを模索しながら支援しました。

9月ガイドヘルプ中（亀岡市内）で、利用者さんの発作と、無意識に近い状態で暴力的な行為や、道路への飛び出しをしそうになることがあり、担当のヘルパーからの管理者（木村）に応援要請がありました。近くにいた別のヘルパー（ヘルプ中ではなかった）や、お結びの職員の応援をいただき、ご本人の怪我なく対応することができました。しかし、11月にも、同様のことがあった時には管理者（木村）が連絡に応じることができず。居宅の管理者（井尻）が連絡に応じ、対応をしました。1月から家事援助で新規利用者が1名ありました。主に整理整頓を一緒にしています。

4. 次年度への課題とそれに対する取り組むべき具体的な実践内容

《グループホーム》

- ・その人らしい暮らしを思い描ける取り組みを検討します。
- ・各ホームの特徴を生かし、各ホームらしい取り組みを検討します。
- ・ホームに定着できていない人の取り組みを、一人ひとりスポットを当てて準備します。
- ・連携を最重要とし、様々な分野・事業所とさらに密に連携します。
- ・スキルアップの取り組みを行います。

《ショートステイ・日中一時》

- ・利用者さんが快適に、安心安全に過ごせるよう、設備を整えるよう努力をします。
- ・ショート・デイサポ職員同志、居宅職員との横のつながり・連携を強め、様々な研修を通してスキルアップを図ります。

《ホームヘルプセンターゆめネット》

- ・近年の夏にはゲリラ豪雨や、記録的な台風等が頻発しています。対応については部署内で意見を出し合いながらより適切な判断が出来るよう、検討していきたいと思えます。
- ・メンバーの障害の重度化や、褥瘡等が増える中、医療行為と身体介護の線引きをはっきりさせ、どのように支援をしていくかを検討します。
- ・ゆめネット職員会議や学習会を定期的に行ない、連絡や意思統一がきちんとできる場を設け、より一体感やチームワークを高めていきます。